

# 水源禪師法話集 57

(2015年10月4日 弘前法話会)

2016年12月12日

一乗禪の会



## 目次

目次 .....	2
<b>水源禪師法話</b> .....	3
世界と行き来していた「津軽帝国」(東日流外三郡誌) .....	3
水源禪師がお釈迦様の法(四念処)を受け取るという凄さとその指導に当たるまで .....	6
滅法を救うのは仏法、法・ダンマしかない .....	8
<b>質疑応答</b> .....	11
実際リンゴの味を確かめる・クサラ、アクサラの行も然り .....	11
お釈迦様の「愛の理念」を植え付けていない世界の政府の惨憺たる現状 .....	12
バンガを一週間、二週間持続させなければ法随観に入れない .....	13
現代の日本の宗教界の現状とその内 .....	14
妻帯は修行道場 .....	20
供養と中陰 .....	23
和尚様もお釈迦様の正道した所へ旅を、そうすれば煉瓦の入れ場所がわかって来る .....	25

## 水源禪師法話

### 世界と行き来していた「津軽帝国」(東日流外三郡誌)

何故私が、お釈迦様の言葉(パーリー語)でお話しするかと言えば、お釈迦様の言葉で唱えれば、やっぱり心が響いて現れて来ますから。で、その教えを戴いた方々も、ここに現れて応援して下さい。日本の萬の神々もここにおい出になされて、またこの津軽の神々もここに居ります。来て下さっております。ま、そういう事で、あなた様が一人ではなく、あなたを通して沢山のここにめぐる精霊達もここに来ておりますので、私はとても嬉しく思っております。

皆さんにお話したパーリー語はマガダ語でもあります。それでインドのお坊さんの、お話では現在もカルカッタでは50%もマガダ語がこの地方語に入っているのでパーリー語の経典がとても理解しやすいと言っておりました。で、こういう風な発音で、お釈迦様は説法されました。で、日本語の言葉も実に深い仏法があります。でも瞑想して行けば、お釈迦様の限りない、限りない、限りない、その深い言葉がこのパーリー語の中に秘められています。簡単な様ですけども、非常に深いです。

ちょうどパーリー語と言うのは、実は津軽弁によく似ている。何故津軽弁に似ているかと言うのはね、例えば「美味しい」と言うのは、「め」と言うでしょう？「め、め」と。で相手も「め」と言うでしょう？それで完全に通じるでしょう？でも関西に行けば「これは美味しいですね」とか、「美味しいですか？」と、無駄な言葉が沢山あります。お釈迦様の言葉は簡潔に無駄を抜いた、非常に洗練された究極な言葉で話されます。で、津軽弁もね、関東、関西、東京、京都と違って非常に単純化されていますから、大体津軽の方が話す言葉はね、もう心の対話に入っていきます。無駄な事を抜いてしまいます。

という事は、実は津軽弁は、非常に高度な言葉。それが一般の中央の弥生文化の言葉が良さそうに思いますが、実はこの津軽は非常に歴史の長い文化なのです。ま、津軽ですからお話を戴きますけれども、明代のその地図には、津軽藩というのは日本の半分。非常に強力な国だったわけです。で、南の方の京都とか、南の方は本当小さい地図で書かれています。明快に「津軽」と書かれています。で、本当の津軽と言うのはね「東に日が流る・東日流」と漢字に当てます。

という事は、これは津軽の文化は非常に長い長い時空で出来た文化であるのですけれども、そういう事でもありますけれども、何故かこの津軽の歴史が、非常にぼかされて伝わってないみたいです。何故かと言ったら、弥生文化、朝鮮半島から来た文化、大和朝廷。その前から津軽はあったはず。何故かと言いますと、ボルドビーのヴィーナスと言ってエクアドルの海岸に、津軽と同じ処方と同じテラコッタの土器があります。この事を発見したのは、カリフォルニア大学の世界の全ての土器を研究されている加州大学の教授が「これは縄文式の手法であって、これが南米で独特に作られるという事はあり得ない」と。「手法がそこに伝わった」と。で、二千年前、結局九州も縄文式の土器が出て、ずーっと北、津軽まで来た。もう全部その昔は、その縄文式文化だった訳です。で海を越えて必ずやエクアドルのボルドビー

のヴィーナスと言う、その津軽の人形と同じ形。で日本の考古学者がびっくりして研究に行きましたけれども、何故かその後伏せられて。

でさっき言ったように「東に日、流る、東日流・つがる」という事は、結局日が横に流れたと、太陽が。この地球の自転が変わった事を意味します。こう上がる訳ではなく、北極で見られるように横に日が流れたわけです。という事がエジプトのお坊さんがね、言っている訳です。「我が国は2回西から太陽が上がり、2回東から太陽が上がっています」と。それくらいこの時空が変わった事を意味する訳です。

と言う風なこの津軽の文化は、それに類似する非常に古い文明を持っていたのですが、それが何故か全部ぼかされて消されております。特に『十三湖』(土佐湖)と、幻の都という京都にも勝る都があった」という事を私は聞いておりますけれど、明代の日本地図を見たら「津軽」と言って、日本半島全部、殆ど半分が津軽の領地になって、伊達とかそういう所は非常に小さい領土で画かれておりました。全て小大名で「津軽帝国」が非常に大きかったと思います。それが一瞬に津波が来てこう沈んだと。でその後津軽為信公が治めましたが、東日流と言う当て字ではあったけれど、結局「東日流三部記(東日流外三郡誌)」と言うのがあって、それは贋作とか言われておりますけれども、世界的な文献を調べたら合う事が一杯あるわけです。で、日本の人は、この情報は全く分からないから、中央の方で「贋作だ」とか言ってるけれども、それで日本の人々が非常に困惑して、本当の歴史、日本史を知らされていない様ですね。

で、だから昔「諸越(中国の山東半島)の国より南に下りて6ヶ月、そこに金の国がある」と、ジパング(金国・モンゴル発音)。結局ね、太平洋に船、ボートを乗せれば6ヶ月後にはカリフォルニアに着く訳です。丁度合う訳です。それをマルコポーロが「ジパングは日本の事だ」という風に思いこんで書いた訳ですね。ところが、その航路を辿れば、6ヶ月後、ちょうど南米のエクアドルに当たるような航路になりますね。で、その昔の伝説では「一つの民は東に向かって消えて行った」と。ユダヤ人の民がね。で、北米にいるチェロキーが「実は私達は中近東のユダヤの国から来た民族である」と。「それは嘘であろう」と。で、現代はDNAを追跡して調べる事が出来ますから、そしたらチェロキーは白系でユダヤの血を持っている訳です。で、彼らの航路は一つ「オーストラリア方面から、南太平洋を曲がって上がって来た」という説と、もう一つは「東に向かって上がって来た」と。もう津軽では、多分北米と昔行き来したと思います。そういう事をメキシコ人が言っています。前は東から船が行き来していましたが、突然途絶えてその後西洋のコロンブスの船が来た。

という風に、大体私達はまやかしの歴史、まやかしの知識で教えられていますから「そりゃ嘘だろう?」と。ところが、中国の文献は、大体4AD、4世紀頃ね、紀元後4世紀に明快に「中国のお坊さんがカリフォルニアに渡って仏教を教えに行った」という文献があります。「そして帰って来た」と。という事で、北インディアン(北インディアン)の宗教的な理念は、非常に仏教と良く似ています。だからその北インディアンの方は、仏教の教えを素直に問題なく受け入れる様な素質がいっぱいあって、私もその北インディアンのお祭りに呼ばれて、非常に喜ばれました。

(グランドキャニオンの洞窟に大仏あり、とNew York Times 1902、に報道されています。)

という風に、キングアショカはね、戦争は人類の最も悪い事であり、自分の体験より全世界

に、ミッシヨナリーという今のキリスト教みたいに、お坊さんを全世界に送った訳です。という事でエジプトにもその跡があります。それからヨーロッパのハンガリア、ブダベスト(ブッダベスト)です。という風にブルガリア、ウクライナでも、カイラス山という仏教では最高の須弥山ですね。「最も聖地である世界の宗教の中心である」と言う事を、前から分っています。で「死ぬ前に一回はそのカイラス山に行きたい」という風に全世界はその繋がっていますけれども、政治闘争で全部隠し隠し、私達は今大混乱にあって殺し合いをやっている訳なのです。だから「キングアショカはもう 2250 年前に『戦争は最高の悪だから』と言って仏法を全世界に広めに行った」という、その証。4AD ね、4 世紀に中国の文献には、本当にその様に書かれていますし、そしてまた帰って来た。

でカルフォルニアのサンディエゴ沖には、中国の船の碇、石の碇が沢山ある訳です。「何故、中国の船の碇があるか」と。その石を分析したところ「全部これは中国産の鉱石である」と。中国で出来た物のその石を削って穴を空けた丸一い碇なのです。でそれが千年前にちゃんと沢山そこにあるわけです。という事は船が行き来していたと。だから「諸越の南 6 ヶ月南下する」と合う訳なのです。という事を全て隠していく訳です。

---





### 水源禅師がお釈迦様の法（四念処）を受け取るという凄さとその指導に当たるまで

お釈迦様は、こう言いました。「自分でしっかり調べなさい」と。「真実こそ仏法である」と。「法と言うのは、真実を語り、真理を求める。これ以外になし」と。で西洋では「前世もない、来世もない」と。ところがお釈迦様は、法随観でどういう風にして過去を観る事が出来るか？宿命通で明快に観る事が出来ます。また、天眼通、未来を観る事も教えています。これも法随観の中の手法で、ちゃんと今でも観えます。ミャンマーではこの行を終えた方が 200 人くらいおられます。でこの法随観を終えた後に、空の世界に入っていきます。それを預流果、ソタパナと言いますね、初段階。

で達磨大使様が、中国に来て 9 年間座って、法灯を中国にのこしてパミール高原を通過して帰る時に、達摩多羅禅経を残して行きました。そのお経を私が霊光寺で受け取り、その中には明快に法随観の事が書かれてあります。ですから心随観を達磨大師様が教えてくれましたけれども、達磨大師様のその手法はどうしても禅相（ニミッタ、月輪）を持たなければ、修行が出来ない様になっています。また法随観も禅相を持たなければ、第一禅定に入る事が出来ない訳です。

それで般若心経と言うのは、つまり一から最後まで全て法随観の題目を述べている訳なのです。これが明快に法随観で観る事が出来ます。それで私がミャンマーに行った時に「何故あなた方は般若心経を唱えないのか？」と。「いや、私達は実際にそれを修行して実践しているから唱える必要がない」と。実にその通りで、観というのはヴィパッサナー、止観禅の観

禪、ヴィパッサナー、止禪というのはサマタ、「オン・サンマヤ・サトバン」の事です。

で、観自在、自在、五自在を使って第一禪定に入っていきます。それを玄奘大師が、これをこういう様に書きましたけれども、鳩摩羅什大師は「観世音菩薩」という風を書いて非常にそこが誤解されていますけれども、実はどちらも正しいです。何故かと言ったら、究極的には観世音菩薩になる訳です。このお経全体が。やれば観世音菩薩の慈悲の心が明快に分かって行く訳です。でこの宇宙の成り立ちも、だからその部分を取れば間違っている様に見えますけれども、どちらも実は正しいのです。ただ玄奘大師様の場合は、実際の行法ではこういう風にして入るから「観自在」と書いた訳です。どちらもヴィパッサナーを使います。

で現在は、正法の時代に入りまして、結局正法と言うのはヴィパッサナーを教える時代です。500年。その後サマタ、止禪の事。その後、シーラ、戒律。その後、布施。そして経典仏教。だから日本はこれから経典教学よりヴィパッサナーの時代に入ります。正法にまた戻ると言う時代に入って、奇しくも私がミャンマーに行きまして、受随観、法随観、心随観そしてまた身随観、身体の身随観ですよ、漢字で言えば。パーリ語で言えばダンマヌパッサナー(法随観)、チッタヌパッサナー(心随観)、これが禪です。禪の手法、心。チッタと言うのは心。それから受随観(ヴェーダナーヌパッサナー)、感覚によって法を知ると。最後は身随、身体、カーヤヌパッサナー、カーヤというのは身体です。このカーヤによって、アーナンダ尊者が消滅の法でアラハト(阿羅漢)になった訳です。でこの四つの手法が書かれたお経が、四念処(サティパッターナ)と言って、南伝では非常に大切なお経ですけども、今はこの四つの行法を教える所がない訳です。それで、サティパッターナと言って非常に有名です。

私が何故この正法を受け取ったかと言えば、マレーシアの首都ですね。マレーシアのクアラルンプール、マハビハーラでちょうどスリランカで最初に比丘尼になったと言うプロフェッサークスマ比丘尼が「サティパッターナは私の博士論文です。」「それをぜひ見たい」と「はい」と言って一番大切なサティパッターナの経文を英文で受け取って。で私がそれを確認する事が出来て、それで四つの法随観、心随観、受随観、身随観を体得する事が出来た訳です。それで「お釈迦様の言っている事は一つも間違いない」という確認。でお釈迦様は「これ以外に涅槃に達する方法は無い」と明快に言われ、また実にその通りであり、また「涅槃に達するのはそんなに難しい事ではない」という事も、この受随観を人に教える事によって確認出来ました。そんなに沢山の時間が無くても、正法であれば簡単にそこに到達出来る訳です。何十年も一生懸命勉強しても、それは深く考える事ではありますが、現在実際に体得出来るという事が、日本で起こった訳です。そうですね？

## 【参加者】

はい。

という風に、結局何故これが日本に伝わらなかったと言えば、さっき歴史上の津軽の事を話した様に、一般には本当のことも、それは外国の話とか、検証も無しに全て自己的に真実なしに発表する事によって社会に混乱を起こしていますが、昔の中国の文献には「エクアドルは裸の黒い国」と、明快に中国語で書かれている訳です。

という風に、北日本のこの津軽の文明は、非常に北アメリカのエスキモーの文明に非常によく似ている。それで人もね、非常に良いのですね。明るくて嘘をつくとかそういう事もなく、非常に優れた民であるけれども、北にいるが故に法を受ける事が出来なかった訳ですね。ただ最高の北緯に上がったのはチベット仏教、モンゴル、それからバイカル湖の非常に強烈に寒い所まで、チベット仏教は仏教の教えを広げて行って。ロシアの今のウクライナの近くカスピ海の辺りまで仏教を教えて、だからチベット仏教も今、世界に広がっているというのは、実態で教えて行きます。で、行を持つラマはね、リンポチェ様達は、やっぱり座ったらエネルギーを発射して行きますからね。

それで素晴らしいダライラマ法王も、私を目の前にして、法を2日にびっちり渡り、法話をお話しされた時に、やっぱり「四界分別をやってくれ」と。「あなたはこういう素晴らしい国にいて、時間もたっぷりあるから一生懸命やってくれ」と。

まあ、そういう事でもやったのはただ坐禅だけです(笑)。でその坐禅をやっているお陰で、退職した後、仏国仏国を回って、そしてこの法随観を手にする事が出来ました。法随観を手にする事が出来たが故に、受随観を手にする事が出来た訳です。でスリランカで受随観を手を受け取って。で最後はその法随観、心随観、受随観を受けたお陰で身随観のカーヤヌパッサナー。マハシ手法のヤンゴン、非常に有名な方です。今でもやっていますけれど、足を上げて下ろす、そして右足上げて、左足上げてと。

でもね、これも相当行くと思いますけれど、法を体得した人からやれば出来ますけれど、それをコピーしてただ真似れば。結局今回発見しましたが、非常に傷つける事になると思います。日本には言語の関係でゴエンカさんの言っている事が、正確に訳されないでいますから、でその訳されない手法でやっていたと言う事を今回発見して。

そして私が10日間に渡り、もう一禅毎に直して行く訳ですね。それでこの方達も心からもう座って、もう一晚中座るのですよ、寝ないで、最後は。もう真剣勝負です、凄かったです。という風に、普通まあ、1禅1時間、1日5時間、そうじゃない。一晚中座って「もう一生に一回だけやってくれ」と。ミャンマーでは「1日22時間、一年間座ります」と。それでも法随観を得るかどうか。「あなたは一生に一回だけ、たった一日だけ徹夜でやってくれ」と。と言うのは、7日で帰らなければいけないから。他の人はまだ3日残っていたと。で、この方も真剣です。やりましたね。凄かったです。

で、一応の基礎の法を受ける事が出来た。で初めてこれが、受随観の法であるという。日本ではその法が伝わっていたけれど、これまで正確に行かなかった訳です。つまり言葉、言語の問題と、それから学説によって混乱が起きていました。

## **滅法を救うのは仏法、法・ダンマしかない**

結局、津軽の凄い帝国の歴史が殆ど消されてしまって、この津軽には大変な文明があったと思います。何故かと言ったら、南の沖縄に「与那国」という所があります。その海底には、巨大なモリスク(巨石文明)、巨大な遺跡のお城があって、人工で作られている訳ですね。でそのフィルムをアメリカの人が撮ったのですけれども、2時間の映写で普通は石しか見せま



せん。ところが間違っ一秒か一秒半、顔が出て来たのです。明快に、彫られていました。天然で出来た場合には、顔が彫られません。顔が彫られているどころか、北インディアンの羽を付けている訳です。これくらい一般社会の方々をまやかすわけです。科学は絶対に人をまやかすような事を教えてはいけません。

ところが NASA もつい最近、「火星には水がある」と発表した。何故かと言ったら、インドがたった70億円で火星に衛星を上げて見ているから。もう嘘を付けない様になっている。前々から「水はある」と皆科学者が言うのに、もう土壇場になって今まで何十年も隠していた事を、土壇場になって発表するわけ。これから日本の学者がエクアドルのボルドビアに行って、縄文式の手法をもう一回確認して、その津軽の土器と一体、その人形、目の丸い大きいのあるでしょう？同じなのです。と確認した時に、じゃあ歴史的にどうしてこれが発生したか。科学的には偶然発生は不可能。必ず誰かが伝えている訳です。それ以外に偶然という事はない訳です。

車を作るのも、結局ドイツのガソリンエンジン、それが開発されてそしてそれが変化してアメリカ、日本に来て、今の日本が世界に花咲いたでしょう？その最初の種は、ドイツでもう作られている訳です。それを「日本で突然作った」という事になれば、全く違う手法で作らなければいけない訳です。それが全て関連して、それ以外の手法では出来ない。またドイツでヴァンケルエンジンという三角エンジンあるでしょう？あれもドイツで、日本で真似て作りました。その最初の型は、型が出来た事を突然同じ原本が他で出来るという事はありません。絶対にあり得ない訳です。で、もし「ヨーロッパにこの様なお寺の様な建物が突然出来た」と、独自に。ありえない。誰かが日本から行って作ったと。それしか絶対にありえない。事実上、隠す事が出来ません。

でお釈迦様はこの事を言っています。だからお釈迦さまが教えてくれたサティパッターナ。ダンマヌパッサナー、チッタヌパッサナー、ヴェーダナーヌパッサナー、カーヤヌパッサナー。で、あと五万とある沢山の論文、星の数ほどある論文を幾ら読んでも、この四つをする以外に涅槃に達しない訳です。ダンマヌパッサナーをやれば、アビダンマという五千ページの書かれた事が、何処が抜けて何故こう書かれてあるか？全て分って来ます。殆ど文献仏教でやるものですから、結局、他の偉い学者様の文献を通して、そういう哲学的な論法で書いて行くから「間違いないだろう」と。その「間違いないであろう」という事の実証は、結局お釈迦様の手法の瞑想で通した時に明快に出て来る訳です。つまり現場の実験によるしかない訳です。

設計図を貰ってその設計図を見て家は建たない。でこの設計図が間違っているかどうかは、現場に行って家を建てて「作れない」と「お前の設計図は駄目だ」と。ところが設計図ばかりで行った場合には、幾らこれが保障されて「もう絶対に間違いない」という事であっても、結局設計図が間違った故に、福島原発の災難を起こしたけれども。皆はそういうその設計図の内容がどういう事が分からない、私も分からない。

ただ私の分っているのは、現場の人間ですから、福島原発の設計図を NHK で見た時に、この車にブレーキが一つしかない訳です。そのブレーキが一つ外れたら大変な惨事になるでしょう？その福島の場合は、本当にブレーキが一つしかない様な設計図な訳です。それを止

める第2のブレーキが無いわけ。その第2のブレーキを、私達は今は「ハンドブレーキ」と言ってワイヤーでやるでしょう？昔は鉄なのです。鉄のロッド(棒)で繋いで、絶対に間違いなく止まる様になっています。

で福島の場合は、それが無かった訳です。止める方法が。止める方法はただ一つ、その放射能の鉄のドアを開けて、中で。結局、空気圧力によってバルブを開けたり閉めたりする。部屋の中に入れば即死です、それでは駄目なのです。外から鉄の棒でバルブを遮断をするか、オープンをするかをやれば人の命が助かる。そんな危険な事をしなくても良い。これは設計図の基本。この設計図の基本を誰も言わないし、私が初めて見て分る事で。どんな技術者でもこれを見たら腰を抜かします。「こんな作りをしていたのか」と。またそれは秘密になるから、事故を起こした後で分るという事で。で、未だに私の言っている事は誰も言わないはずです。

つまり日本では、人を傷つけないというふうな風習があって「まろやかに、まろやかに」。それはそれで良いのですけれども、この国家破綻、国家滅亡の危機において、それでやって皆が滅亡の道をまっしぐらに走ったらどうなりますか？

という事でこの滅亡を救うのは、ただひとつ仏法だけです。お釈迦様は「前世もあり、来世もある」と明快に言われています。西洋の教えでこれを教えている所が何処にありますか？ただ一つヒンズーはそう言っています。これは法随観をやれば、まさに宿命通で過去をずっと観る事が出来ます。で私だけでなく、この宿命通を観せる手法を「法随観」と言いますけれど、これで二人の方に法を伝えて見せています。どちらもお医者さんです。何故かと言ったら、普通の人に見せた場合には、お医者さんから「お前頭が狂っているだろう？」。それでおしまい。他の哲学者も「あーお前何やっているか」と馬鹿にされるくらい。

実は「人間は誰でも一緒」と。仏性がありそういう風に、すぐ決め付けたら駄目なのです。でも仕方なしに私は差別ではありませんけれども、そういう非常に心を磨いた方を選んで、それで瞑想させた訳です。それも第一線で働いている方です。生死を直接見た方、非常に社会に奉仕して、その最先端。だから私が、カナダで教えている方は、全て大学の教授連です。何故かと言ったら、普通の方は「あーお前まやかした、何を座っているか？」と言ったら、それですぐに辞めてしまうでしょう？そういう最先端にいる方達は、もう不可思議な世界の直前にいますから、私の言っている事が分る訳です。物理学者も数学者も。で一人の物理学者は、今非常に深く仏教の方向に走って行く訳です。

で、「法を伝えていく」というのは、非常に難しいです。特に今までこの日本の仏法を守って来た一般の方達、壇家様達に、私はお礼申し上げたい。この「仏法」と言うのは、大変な事なのです。宇宙の本当の花、最高の宝。これを千数百年間、こうしてただただひたすらにひたすらに、ダーナ、壇家、お布施。こうして守ってくれた方に、法を返すべきじゃないかと。私はそう思っています。

ま、それで素晴らしい僧侶様達が、色々な方法で「如何にして一般の方に法に触れる様に」と、色々な手法を編み出した訳です。阿弥陀様の名号を唱える、経文の法華経を唱えるとか。そしてまた真言のマントラを唱えるとか、そういう法を使って法を浸透させると。または、直接坐禅をさせると。でも坐禅が実は最高ですけれども、なかなか最高であるが故に、また

する方が少ない。

という風に、なかなか本当の宝は手に入れにくい訳ですよ。だから優しい段階から段々段々と「方便」という事で悪いのですけれども。そういう事でも、こうして日本の仏法を守った方に本当に心から感謝する訳で。

特にこうして津軽に生まれ、こうして法話が出来るという事は、天界の恵みと。まず報告出来た事に、私なりに自画自賛で非常に失礼な事を言い回しであったかもしれませんが、そこはちょっと目をつぶって戴き、感謝申し上げて、こうして津軽の方に私のお話を聞いて戴けて、とてもとても感謝しております。

ま、そういうことでどうでしょうか？和尚様も何なりごつくばらんに、私は津軽弁でも分かるので津軽弁でも結構です。どうぞごつくばらんに質問して戴けたら幸いです。

## 質疑応答

### 実際リンゴの味を確かめる・クサラ、アクサラの行も然り

---

#### 【参加者】

クサラ、アクサラ、善心、不善心についてちょっとお伺いしたいのですけれども、瞑想する時は特にクサラ、アクサラを考えないですよ？

#### 【水源師】

ま、それは法随観でクサラ、アクサラを観るナーマ・ルーパ(心と体)の行に入ります。それでなければ、全く無意味であります。何が正しいか、何が悪いかな。そのクサラ、アクサラを明快に法随観でナーマ・ルーパの行によってそれが分る事であって、ただ座ってそれを「これが善心か不善心か」という事は全くの無意味。

#### 【参加者】

「法随観で観る事によって」という事ですね。

#### 【水源師】

それが「実際のクサラはこうである。実際の不善心はこうである」という事が、明快に分かり

ます。それ以外は、幾らりんごを持って来て「これがりんごだ」と。そういうよりは「食べなさい」と。りんごも「雪の下」もあれば「ふじ」もあるし、いろんなものがあるでしょう？その味を確かめて、りんごの違いを「こうこうこうだ」と言うのがナーマ・ルーパの教えです。でそこで不善心、「あ、これ腐っている」と。「これ美味しく食べられた」と。「このふじは」善心クサラであるという事です。

## お釈迦様の「愛の理念」を植え付けていない世界の政府の惨憺たる現状

### 【参加者】

中国の哲学で「性善説と性悪説」というのがあって、「性善説と性悪説」というのは？

### 【水源師】

ああ、それはねカルマであって、これは宿命通を明快に観た時にそれが分る事であって、それを哲学的に観ていったら非常な問題があります。なぜかと言ったら、三百年前には民主主義という事は無かった。それから共産主義という事も無かった。それから全体主義という事も無かった。ところがそれは三百年前にヨーロッパの大金持ちが、二千人のヨーロッパの最高の頭脳を集めてそういうシステムを作った訳です。で喧嘩させて、今も現在、結局「民主主義」の名の下に大変な悪行を犯しているでしょう？よその国に攻めに行ってもその後は、人が何百万人と死んでいる。その名目は「その国を開放して自由を与えて国を栄えさせる」と。

ところがその国は徹底的に破壊されて、未だに何十年も苦しんでいると。という事に対して、世界は何も言わない。言ってもその声は潰されると。特に日本はそういう所に行っても、戦争法案で行ったら大変な事になりますよ。戦争になれば前方後方はなく、中でも後ろでも前でも、一番弱い所が突かれますから。特に日本の自衛隊が行って、一番後ろで弱い所をやったら、そこが真っ先にやられる。壊滅されます。そこを壊滅された場合には、前方で戦っている時に補給が行かないから、前方が全滅します。だから「後ろで安全だ」とそう信じて、もし行ったとしたら、これは大変恐ろしい事です。この方達は皆殺しに合います。

何故かと言ったら、武器弾薬の輸送班とか、そういう地雷の操縦班とか。そういう所にイランは、昔の特攻隊の様に、ボートに爆弾積んで突っ込んで来ますからね。それが何千隻ですよ。一隻二隻、何千隻それがダーツと来るから、防ぎ様がないですよ。もう戦争とは命を懸けて行くから、昔の特攻隊みたいに。特攻隊は日本だけではないわけ。今でも自爆でどんどんやって行きます。ベトナム戦争でも女性が爆弾身体に付けて、突っ込んで行きますからね。ヘリコプターの中に飛び込んで。これほど残酷な事なのです。

だから「戦争は駄目です」と。どんなに自分の国を守るという事であって、よその国に行くという事は、これは大変な事になりますね。因果関係でね、私があなを殴れば、あなたは怨むでしょう？その因果であなは私を必ず仕返すはず。私があなに良い事をするでしょう？あなたは嬉しい。あなたは何れの日にか、私に何か美しい喜ばしい事、食べ物とか、優しくしてくれるはずです。これが因果です。

という事で、結局今の日本の社会は、政治家を再教育する必要があります。どういう風に

再教育するかと言ったら、まず座らせる。その非常に間違っただけである知識の頭を抜いて。だからお坊さんは、しっかりとしっかりとダーナをする素晴らしい在家の人の為に命を捨てて、政治家達を教育する必要があるのだけれども、ところが正法でなく、思い通りの教団組織でとか、結局カルト、カルトの教えでやるからおかしくなっている訳です。今は、名前を言ったら非常に失礼ですけれども、そういうふうなカルト的な教えで来ている所があってそれでも沢山良い事しています。そういう方の中からも、結局正法の方で、お釈迦様の「愛の理念」を植え付ければ、こういう事態にならないはずですよ。

今日本は世界的な経済大国で世界を動かしていますけれど、この世界が今、火が点けば日本もイチコロで、福島も今何年になりますか？もう5年になりますね。という風に頭ではすぐ解決出来るのが、未だにもう大変な状態がドンドンドンドン広がって、それを防げないから隠す。で何もないと云ってる。でも実態は大変な事になっている。でその解決策にはお金がいる訳です。前は500兆、今は1000兆2000兆に飛び上がっているか分からない。そういう事をアメリカの学者が言っている訳です。

つまり日本政府としても、それを解決したいと。500兆円のお金は無い、出来ない。ところがドンドンこの死の灰がずうっと追って行って、後手後手後手で。ただただ皆さんを「静かに、静かに」。それは静かで良いのだけれど、解決策が無い訳ですよ。やる方法としては、もう大変な大事業になりますけれども、(アメリカの学者の話では)やる方法があるみたいです。世界に20社のそういう技術を持っている会社があるけれども、大変な巨大な事業になり、また金がかかるから、はたと今困り果てている。

結局最初から幾ら素晴らしい様でも、間違いの上に来たものは、結果がこうなる訳です。宗教も「前世がない、来世がない、何もない、ない」と。西洋では今大変な事が起こっています。アメリカでは1日に、一般の大衆を問答無用で千人以上を警官が射殺しています。それは公表されたデータ。その秘密でも何でもありません。

もし日本でこれが発生したら、もう日本の国がもう大変な火点きますよ。つまり何故かと言ったら、日本の国はもう1500年、2000年のこの国で、心を心田を耕して来たから。「そんな恐ろしい事」と。誰も認めないはずですよ。一警官が司法、行政の上に立つと。何故かと言ったら、もう即決で自分が絞首刑にするかどうか、殺してしまうから。判事よりも偉いしね。裁判官よりも偉いし。また、その法を作る行政よりも偉い。法務大臣よりも。人を殺せるのだから、それも即決で実行してしまいます。という事が、やっぱり今アメリカで起こっているわけ。一警官が大統領よりも偉い訳です。それでは国もおかしくなります。

## **バンガを一週間、二週間持続させなければ法随親に入れたい**

そういう事をやったら、大変な事になるでしょう？日本では、考えられないでしょう？という事を、やっぱり日本の法僧界が今までコツコツと心の田を磨いて来た訳です。それだから、よそから言われて「よその国の宗教が素晴らしい、何とか・・・」言うけれども、実はこの日本にも沢山素晴らしい事があるけれども「そうかな？そうじゃないかな？」という外国からワンサワンサと言われるわけ。そして「ああ間違っているのかな？」と動揺を受ける訳ですよ。という事



は、素晴らしい行者が沢山いるのに、その正法の行が正しく、言葉の関係で伝わりにくかったと私は思っています。

だから、今回関西で 10 日の合宿で、ドンドン正法と受け取って行く訳です。その事をみたら、やっぱり受随観を広めた人がミャンマーから外に出て、その方がブリティッシュインディアン、ビルマイングリッシュだから。非常に難しいと思います。私は何故かミャンマーに、ビルマに一年間居たから、その違いが何となく分かるわけ。で、その後スリランカに行って、その人のそのビデオを聞いて、その事を受け取って、また指導してくれる受随観の方も 80 歳で高齢で、嘘偽り無く素晴らしい先生でしたね。で三日後に「私はこれ以上、教えられませんが」と。「ゴエンカさんに会って下さい」という風に、明快に私に言いました。

私が偉いのではないですよ。何故かと言ったら、法随観を持っていたからスッと行ってしまいう訳です。その先生曰く「私は何の因縁かで、比丘になりたかったけれども、家庭問題とか色々な事で比丘になれなかった」と。「で、あなたがこうして法を受け取ってくれて嬉しい」と。「いやー、私はとんでもない、先生から教えて戴いて本当にこれ以上の名誉はないです」と。もちろん頭下げます。比丘だからと言って、一般の在家が下げるのではなく、こちらこそ法を教えるに値しているから頭下げて、その方も非常に嬉しそうにしていました。

結局、サンカーラ・ウペッカ(行捨)という非常に高い悟りの世界になる訳ですね。16の悟りある中の悟りの一つ。という事を私の報告で確認出来たから、教える方にとっても非常に嬉しい訳です。大体バンガと言って、光り輝く。それは結局、法随観に入る入り口なのです。で聞いたら大体 15 分、それでおしまい。ところが、それは最低それをズーッと一週間、二週間、持続しなければ駄目なのです。その次の段階で、いよいよ法随観の門前に立つ訳です。

ですから、そのお釈迦様の教えはまだ滅亡、滅していません。末法であるかもしれないけど、滅していない。滅していない事によって、これからもう一回華咲く正法の時代に返り咲くかもしれません。という風な事を、今、今回の合宿で、もう何と云うのかな、確認出来ました。ま、そういう事の質問でどうでしょうか？何でも良いですよ。四方や話でも何でも良いですよ。

## 現代の日本の宗教界の現状とその内

---

### 【和尚様】

質問じゃないのですけど……。

### 【水源師】

いやいやいや、疑問でも、何でも、思いでも。

### 【和尚様】

近年ですわ。この原始仏教系の本が巷に出る様になりました。ネットを見ても、先生のようにスリランカ、東南アジア等々と回ってそういう実践の方を経て、日本にいらっしゃる人増えて

来たと感じます。で、私も個人的に、日本の仏教全ての宗派ではないのですが、少なくとも曹洞宗という禅宗の一派なのですが、ここは。ここから見ますと、段階が無いのですね。段階が。階段が無いのです。それは不正解とは言わない。これが不正解とは言わないのですが、指導者を育成するのは難しいですね。目に見えないので。

**【水源師】**

そうです。

**【和尚様】**

かなり誤魔化せるのです。面倒くさくなったら「空である」とかね。怪しいですよ(笑)。これは実践と言うか、誤魔化せる世界が沢山ある。

**【水源師】**

それは失礼ですけども、南伝でもそうです。南伝でも修行する良い先生に出会わないから、さもありなんみたいに、いっぱい書きます。はい、一緒です。世界中の宗教が同じです。キリスト界でも、たぶんイスラムでもさも分かった様に。そこで私が言うのは、「仏性」と言うのは「神」と書きます。「神元」。それをそこに仏性をしっかりやれば、必ず天界が見守って助けてくれます。

**【和尚様】**

まず知識として「段階があるのだ」と、「そういう風な言葉を使っている仏教の世界があるのだ」と知った事が、まず自分の中で大収穫です。で、だからどうしたではないのですよ。それがあると。私はこの世界に入って、初期の10年程は、もう宗門内しか興味が無かったです。いや、手一杯、もう自分の事で手一杯(笑)。まずテリトリーを確保しないと、全部中途半端でしょう？まずは曹洞宗の足場を築いて、そんなのは壊せるのだけれど、でようやく安定して来たかなと。檀家さんとの接し方とか、檀家さん以外の自分が責任を持ってない方とどう接するかとか。フォロー出来ない人。

**【水源師】**

それは大切だと思います。戒律という事で。非常に大切だと思います。

**【和尚様】**

怖いですよ？よく世間、日本ではテリトリーみたいな、先導師なんか、あくどいなんか顔しているなど。でも一理ある。主治医としてです。私が主治医なのか、いや彼には主治医たるべき菩提寺の和尚様がいるかもしれない。これは気を付けて喋らないと、日本は狭いので。だからこの手の世界が奮闘しにくいのは、お寺が先にあるからですわね。私はこの世界で生きて行きます。だからこの世界で生きて行く為に、残念ながら実践は大事なのですが、

どうしても経営ありきで、ここでここを柱に残念だけどやっけて行く。そう決めました(笑)。

**【水源師】**

そうです。それが正解です。

**【和尚様】**

こればかりは、何かで読んだのですが「最終的に命を捨てられるか」と。私は命を捨てられません。これを守る為に、ちょっとお釈迦様の教えとは外れるのですけどね。

**【水源師】**

結局、何の為に命を捨てるのですか？「捨てられるか」というその問題ね。これ質問する事自体が間違っている。というのは、人間には「死」というのがありません。必ず輪廻転生するから、間違っけて自分の命を絶った時には、その因果関係の償いが来ます。それが結局良い方向であるという事であれば良いけれども、それが間違っけて方向で自爆して人を殺したと。「命を捨てられるか」と。こういう事は魔教ですね。人の命を助けてこそ、本当の教えであり、生かすことこそ本当の教えであるはず。で、ここまで色んなその宗派が出来てきたと言うのは、ここで心田を耕している訳ですよ。ひまわりもあり、コスモスもあり、それはそれで良いから、これでドンドン大きくして、それぞれに。で幸せを与えれば、何の問題もない訳です。私はそう思いますけれど。

**【和尚様】**

私もそう思えて来ました。今さっき触れたのは、リスクを伴う様な善行は一切死ぬ事です。

**【水源師】**

そうです。

**【和尚様】**

だから近づかない。だから限界を設けました。まず一つには、一番最初のテリトリーです。この会は、寺に縁のある方々を何らかの形で救済するのが一番の勤めなのです。では、その方法と言うのは今 40 過ぎて面白くなっけて来たのです。だから手応えが出て来てね。

**【水源師】**

そうですか。素晴らしいです。

**【和尚様】**

その段階なのですね。今まで持っけていなかった段階です。で全てをレベル 10、お釈迦様に近づけるって言うのは、私の仕事ではないと思っけてたのですね。私自身もそうで、どの段階までなのか。ではお檀家さんか私と接した方、一般の方々、本当に線香何本とか、蠟燭何本

でもう悩んでいる人が一杯いるので、ね(笑)。日本てね、多いでしょう？そういう人。「ああ、そっかそっか」。まずは私がこの世界で活動出来るのは、せいぜいあと 30 年長くて。それ以降はおつりだと思って。だから、30 年の間に出来る事はいっぱいあるなど。自分を高めると、もう少し本当の和尚として、出家として研究する部分は取っておきたいという風には考えてはおります。

**【水源師】**

素晴らしいですね。

**【和尚様】**

まずはご縁でございます。許可も何も関係ない。ご縁、流れ流れてこの四人が来る訳です、素直に感謝します。でも今日聞いていてチンプンカンプンです(笑)。

**【水源師】**

まあそうでしょうね。

**【和尚様】**

もう少し咀嚼します。後で。ああなるほどなあ。うんうんうんうん、言葉が教えられていてもですね、チンプンカンプンなのですね。

**【参加者】**

いえ、私もです(笑)。

**【和尚様】**

何とかついて行っています。

**【水源師】**

いやいやいや、失礼しています。私もまあこう分からないながら、やっぱり「サーベーター」と。その全て衆生、生きとし生けるもの、「サーベーター」というその発音で、やっぱりお釈迦様が「サーベーター」と言う風な言葉で言われた訳ですね。実は。同じ言葉で、やっぱりその言葉の響きでやっぱり深一くその何と言うのかな？鐘の音の様に響いて行きます。サーッと。もちろん全ての衆生、それは良い事です。でも簡単にサーベーターと。ローカ、一般のこの世の中を Loca と。

だからさっき言った様に津軽弁は非常に進化された短い言葉で、深く浸透して行く訳ですね。まあそういう事で、津軽弁もチンプンカンプン(笑)。

**【和尚様】**

ツールですからね。方便は全般的に面白いですよ。

**【水源師】**

そうですね。

**【和尚様】**

マズイ言葉なのですよね？欠点がありますね。論理的な話が出来ない。これは、論理的な話は出来ないのだけれど、情感を伝えるには方便ですよ。そう思いますよね。

**【水源師】**

うん、確かに論理的には難しいかもしれませんがね、その論理と言う根本が、実は狂っているわけで、土台が。結局、昨日もお話した様に、最前線の数学者は分かります。つまり、架空の砂の上に家を建てているから、いつ崩れるか分からない訳です。と言うのは「 $1+1$ は何故 $2$ であるか？」という事を数学者はこの世始まって以来誰も説明していないけれど、そうなっているわけ。

**【和尚様】**

1と2とするのですよね？ $X$ とするのと同じ？

**【水源師】**

そうそう。

**【和尚様】**

だから危ないけど、相当リスクの高い飛行機を作る。

**【水源師】**

今はもう大変積み上がって大変になっているわけ。非常に高い。だから、お釈迦様は無限の数字を言う訳です。無量を超える不可思議。考え、数ちゃんと出す訳です。もう現代はもう付いて行けないという風に、凄いその数学的な基礎がしっかりして、そしてまた1秒の一兆分の1までちゃんと観ている、お釈迦様は。何故それが分かったかと言えば、スリランカの経典を見て、光の稲妻の時間と、そして自分の心の振動は何回と観える訳です。その観える振動によって、ダンマヌパッサナーの手法をちゃんと教えてくれた訳です。だから非常に測定し難いマイナス10の18乗の時間帯でもお釈迦様は分かり、また無限大数もちゃんと分かる訳です。

まあ「それを皆さん分かれ」と言うのは無理だし難しいけれども、経典にもあり、またそういう事でその事で私が法随観を観る事が出来た訳です。で、まあ観なくても言葉だけでも十分な訳です。そこにさっき言った様に、方言のそこで情を高めて行くと、心田。やっぱりその愛の心をドンドンドン高めて行けば、結局心がドンドンドン優しく大きくなって、その愛の心が大きくなって行けば、まず盗みはしない、人殺しはしない、相手をけなさないという事が自動的にあって行って、人間の心は四段階。愛の時空、そして慈悲、そしてまた歓喜の喜び、



そして最後にウペッカ、静寂。これが四つの時空が一体化なって、この四つの土台が一つの心の心処というものが出来ています。

ですからお釈迦様が教えたのは、四梵天住の瞑想法。「四梵天住、ブラマビハラ」という心の事を表しています。心の仕組みの事をしっかりと。それを体験出来る様に瞑想させるという事であって、でまあ、これをしなくても良い訳です。結局ただジッとただ座る。これ自体で、もはやずうっと長く座って、ただただ、ただ座って行けば、必ずや何か得ます。心がドンドンドンドン進化させて。という方法を六祖大師の慧能様が直接空の世界を觀せると。というのは、こういう非常にダンマヌパッサナーは難しいし。結局、達磨大師様が達磨多羅禪經を残して去ったけれども、それでやっても非常に難しいから、千年前に全てこちらの曹洞宗の手法、つまり臨濟宗、全て一緒。そういう方法で行った方が早いと、でここまで人に分かり易い、全て外して直接極限のそこの場に立たせて、それからと言う、この手法も非常に素晴らしいと思います。で、これでやって行けば、しっかりやって行けば、結局私の言った段階のある「そういう事も必要ない」と言うくらいそういうものもちゃんとあるわけで。

ただ、そこに行くのが、さっき和尚様が言われた様に、なかなかどれがどうかと言う。そこをどうするかの問題。何処でも一緒です。私はこれをやったと、それを点検出来るのは、ただやった人が点検出来る訳です。「あ、この人は出来た、出来ない」と。だからミャンマーの方ではちゃんと出来ている人が200人位いるから。間違ったら、すぐ「間違い！」と言いますよ。ところが、日本の場合では、誰でも「私、した」と言えば「したかな？」と。点検出来る人が居ない訳です。

### 【和尚様】

例えば、曹洞宗の本山、その中心となる福井の永平寺。鶴見の総持寺。改革始まっています。もう若い人に暴力問題が絶えないのですわ。もう肝心の小僧さんが世の中に居ないっていうのがあるでしょう？出家する人間が限られてくると。そうすると、質が落ちているのですね。覚悟の少ない。その覚悟の少ない同志が、あの狭い所で、サンガの中でぶつかるのです。指導者も今 PTA に限らず、先生が、日本の底辺が今大変な事になって。

### 【水源師】

それは世界的な事です。韓国でも、質が段々段々落ちて、金の方に走って行って。ただ戒律を守ることだけをする方達が中には出て来て。で、上の方々が相当もう行者が出て来なくて困っています。スリランカでも一緒に、段々本当の行者が少なくなっています。だからもしそういう改革の方向に進まれるという事は、これは朗報ですね。

### 【和尚様】

時間かかると思います。浄土真宗さんも相当時間かかるはずですよ。今改革で進めようと言うのは、肝心のサンガである修業道場が、今までやっぱりですね、コントロールしたいのですよね。なものですから、長い修行僧を削って行ったのですよ。「古株になると邪魔だ」と。あんまり上の境地、指導者より物を知って貰っちゃ困る(笑)。肝心のサンガに古株が居なくなる

ように、削るの。帰ってって。それか指導者に上げるか。だから、例えば中には一生そのサンガに住んでもおかしくないですね。多分、東南アジアとか、そちらの方には、そういうサンガが成立しているのではないかと・・・。

**【水源師】**

スリランカ？そうそうそう。ミャンマーでは、結局比丘は6人居れば、その比丘がそのサンガを責任持って持って行くから、在家ではないわけです。で、その人は、死んで何も持たないと。そういう方式ですね。スリランカも何処も。

**【和尚様】**

日本にも出来ますよね？多分。

---

**妻帯は修行道場**

**【水源師】**

多分、昔はそうだったと思いますよ。と言うのは、昔は妻帯と言うのは珍しくて、禅僧は全て一人で子孫は無いから。でもね、妻帯も良い所がありますよ、奥さんがちゃんと見張るから(笑)。で、掃除はしてくれるし、楽ですよ。

**【和尚様】**

最近、見張りにならない奥さんもいますよ。生活費だけ払っているという、色々ある(笑)。達観した夫婦も。

**【水源師】**

あはは(笑)。だからそのやり方によって、旨く行くと思いますよ。

**【和尚様】**

はい。この世界ならですよ？

**【水源師】**

そうです。

**【和尚様】**

そのサンガですよ。私憧れます。本当に。サンガですよ。本当に。



**【水源師】**

そうです。私もミャンマーに行けば、働かずに食べます。マレーシアでも、スリランカでも「来てくれ」と。でも、カナダに教室があるもので、やっぱりそこで恩を受けたから、まずここに恩を一応返しておいて、これから自由の身で、今度はカナダから今度は南米に行ければ良いかなど。というのは、お釈迦様の教えがここまで来たわけです。ここから出発して、素晴らしい所

に居て、またちょっと小さい事ですけれども、小さい石の投石ですけれども、出来るという事で何か自画自賛みたい。したくても出来ないという方がいっぱい、非常に能力があってもう色々な因縁で出来ないという方がもう沢山居ると思います。ただ私の場合は出来の悪い人間ですが、何かの因果でさせて貰っているという事であって、まあ何時までご奉公出来るのかな？という事です。

全く私は同感でございます。大乘も、小乗もテーラワーダ(南伝)も、タントラヤーナの密教も全く一緒だと思いますから。ただただ人に如何にして、そのお釈迦様の心に触れて戴ければと。でそこから果物を頂いて戴ければと。私の採った果物を、ま、私なりのささやかな贈り物が出来るという事に非常に幸せを感じます。

だから、私がさっき言った様に「命を捨てられるか」と。それは私は簡単にあなたが法を受け取ってくれるのだったら、何時でも喜んで私は笑ってこの世から去れます。でも法を残さないで行く時には、ちょっと難しい。

ま、そういう事で皆さんに座っていただければ、私は本当に幸せになります。浄土真宗、浄土宗、それから沢山の色々な宗派がありますが、それぞれの宗派で本当に皆さんを何とかしたいと言う方がいっぱい居ると思いますけれども、さっき言われた様に「色々なしがらみで出来ない」という苦しんでいる。ま、苦しまなくても、流れで一生懸命やれば良いんじゃないでしょうかね。と私は思っています。

#### 【和尚様】

はい。有難うございます。かつての悩みでございます。今は出来ない事と出来る事が明確になったので。有難う御座います。

#### 【水源師】

良かったです。良かったです。やっぱりお坊様が悩めば、周りの方も影響受けますから、お坊様がしっかりと「ああ、これで良いと言えば」。

#### 【和尚様】

女房のコントロールだけは・・・(笑)。

#### 【水源師】

ああ、それも素晴らしい修業道場で(笑)。

#### 【和尚様】

すみません。茶化してばかりで(笑)。

#### 【水源師】

いやいや。本当に素晴らしい修業道場で時間が掛かります。もう私も50年近く一緒に住ん

でいますので。今はまあ何でも「まあ良いでしょう」と。「家に居ない方が楽だ」と(笑)。

**【和尚様】**

そうなるのですかね(笑)。

**【参加者】**

最後はやっぱりそうなっちゃう。

**【和尚様】**

まあ一緒に住んでいるから仲良い夫婦・・・？

**【水源師】**

ありえない。一人だったら、自由で何でも出来るけども、二人になれば必ずその間に亀裂があるから。特にベッタリコンで 24 時間絶対に破裂します。という事は誰でも分かる事だけでも、最初はまだ惚れたはれた、素晴らしい。これはちっちゃい愛だから。これからドンドンドン大きくしていけば、空間が出来て、その何と言うのですか？そういうところで、ベッタリコンで行ったら必ずおかしな事になると思います。100%こっち、100%こっちとか。だけど、それは愛は愛であっても、小さい愛。あなたと私の二人だけの世界。一切他は無しという。よく見れば砂漠のような世界ですね。

ところが、お釈迦様は無量の命を引き寄せるでっかいでっかい愛でしょう？私はもうちっちゃい愛の方だけれども(笑)。50 年近く住んだもので、まあまあ間隔置ける様に。ベッタリコンじゃなくても良い様になっています。

## 供養と中陰

---

**【和尚様】**

あ、質問で言うと、ご供養、供養ですね。

**【水源師】**

供養は大切です。大切です。

**【和尚様】**

あちらの方、ミャンマーでも何処でも良いのですけれど、あちらの方面で「供養」という言葉を日常的にどの様に使っているか・・・？。

**【水源師】**

南伝ではあんまり供養という事を言いません。何故か。でもやっぱりお墓を作ってちゃんとする方も居ります。なぜその南伝ではあんまり供養を言わないかという、結局宿命通によっ



て、輪廻転生を観る人がいっぱい居るからすぐ転生して行く訳です。ところが、その供養の中陰ですか、中陰という事を結局素通りしてしまう訳です。で、私の過去生を何回も見た場合には、確かに南伝の様だけれども、結局 1920 年代にドイツの人がチベットのラマとの討論の本を見た時に、「あ、なるほどここが中陰だ」と分かったわけ。私も非常に短い時間だから。

何故かと言ったらね、百万年であっても、千年であっても、十年であっても、一週間であっても、それは一瞬に通り過ぎる訳です。何故かと言ったら、私達の心は宇宙よりも大きいから、時空を超えてしまうから。ここから観たら、結局千年、十年、百年とそれぞれによってその中陰の時間が違くと、だから中陰は人によって違う訳です。

だから大乘で供養すると言うそれは正しい事である事が、チベットの経典を読みながら、「あ、なるほど。私はここをあんまり素通りしているな」と。ただし、私のお母さんが死んだ時、供養して 49 日その後もずっとやって、非常に心が穏やかになるから、これは見逃せない大事なところだと。

### 【和尚様】

現実、中陰というのは一般に信じられているという事ですか？ミャンマーのあの辺りで、中陰思想が根付いているのですか？

### 【水源師】

いやいや。一般の人は分からない。これは私が結局日本で生まれて育て供養しているという事で、この時空が明快に分かったわけ。というのはその時空が分かったのは結局チベットの方の経典でのやり取りを見て「あ、ここを私はちょっと見過ごしたかな？」と。非常に短い時間帯だから。結局、確かに行者が宿命通を観る時に、非常に短い時間だからあんまり関係ないと。ところが、大いに関係がある訳です。何故かと言ったら、一つの心は全ての心になっているから。

だから結局短い方が死んだ場合には、この時空からは百年であるかも分からない。五十年であるかも分からない。十年であるかも分からない。その輪廻転生する時空の関係です。また輪廻転生した時でも、ここからつまりお父さんお母さんと非常に近い関係がありますから、心が通じている訳です。で、心から供養するという事は尊敬し愛して、そういう事で頭を下げてお供え物をする筈だから、この心が通じる訳ですね。で、暗い所にもし行かれたとしたら、この心で光を差し上げる事が出来ると思います。こういう心と心が通じていますから、どんな時空に行っても天の助けとかね、何かこの新しい生命体に良い事が起こる筈です。

### 【和尚様】

地獄界や餓鬼界に転生していた場合にやはり供養する事という事でしょうね。

### 【水源師】

そうです。ま、強烈的な言い方をすれば、失礼になるから。具体論で言えばそうです。だから地藏様も存在しますし。それは凄い事です。南伝の方では、スーッと通過してしまうから。

多分お釈迦様も言っていると思うのだけでも、法随観でやった時に、あんまり明快に観えないから、なおざりにしたという事があったのではなかろうかと、この頃思う様になりました。

**【和尚様】**

今回、先生が来日されて合宿での法話も、先生が法随観という瞑想の手法でご自身の過去生を観られているその体験とチベットの死者の書ですかね？それをご覧になった体験を通して、その一人一人。まあ、私達は49日で転生するみたいに教えられていますけれども、一人一人もっと短く次の転生する場合や、もっと何年も掛かる場合や一人一人その年数が違うという法話をちょうど今年して下さいました。

**【和尚様】**

私の下北の師匠から「最初から最高49日」って信じていました。面白い。

**【水源師】**

あ、それはですね、こういう事だと思います。お釈迦様が悟りを開いてそしてそこに一週間座った訳です。菩提樹の下で。で、またその近くを一週間歩いた訳です。トコトコと。そして今度はまた一週間、遠い丘の上からジッと観てた訳です。で、その後また森に入行って、ジッと座っていた訳です。で、7週間やった。最後はその池の上に座っていた時に大お雨が降ってきた時に、ナーガの七つの頭のあるコブラがすうっと傘になって来て、雨が当たらない様にと風になる。で全部で49日間になります。

**【和尚様】**

そういう話が伝わっているのですね。

**和尚様もお釈迦様の正道した所へ旅を、そうすれば煉瓦の入れ場所がわかって来る**

**【水源師】**

ブダガヤに行けば、ちゃんとここで何週間、ここで何週間、ちゃんとそれで49日になっています。現場を見て歩くと言うのも、やっぱり和尚さんとしては、行ってみるべきだと思います。それこそ、命を掛けて夫婦喧嘩してでも「是非お釈迦様が正道した所に行かせてくれ」と。

**【和尚様】**

行きたいですね。そうですね。中国行った時も、随分取れたのですけども。良いですね、ミャンマー、スリランカ、タイ、行きたいですね。インド行きたいですね。

**【水源師】**

そうそうそう。そういう事によって、大乘仏教が益々良くなると思うし、曹洞宗も益々良くなると思いますよ。欠けている所を見つけて、外れているそのレンガをちゃんと入れてしっかり出

来るのではないかと思います。私は何も曹洞宗が間違っていると一つも思いませんよ。素晴らしい行法で沢山の素晴らしい方を…。

**【和尚様】**

それは私も間違っているとは今まで思った事はありません。

**【水源師】**

だからこれから益々発展。

**【和尚様】**

アプローチの仕方が…。

**【水源師】**

そうですね。ですからそれを確認してやって行くには、やっぱりね「ご迷惑でも旅させてくれ」と。昔のお坊さん方は旅するのですよ。今でも、韓国、中国の御坊様は良く旅をします。旅する事によって、段々お釈迦様の教えを吸収して行くようです。まあ日本のお坊さんはご苦労様で、法務もあれば、もうお医者さんと一緒に、いつも待機しなければいけないし、そこをなんとか和尚様同士で「ちょっと一ヶ月休暇みてくれ」とか、旨い事やって。遊びに行くのだったら「お前何やっているか？」って。「いや、お釈迦様の所に行って、ずっと一週間瞑想したい」と。「私がやったら、お前次」と順番作れば。

あれは良かったですよ。私がお坊さんの昔ね、菩提樹の下で朝な夕なに一週間座ったのですよ。ま、ぶっ続けではないですよ。朝早く、ずうっと。まあ気持ち良かったですね。夕方また行ってずうっと。ここで座れたのかと。私が行った時はまだ鉄柵が無くてね、近くで座れた訳です。今は遠く離れて、なかなか近くに行けないけども。スリランカから来た分け木で出来たのです。千年前にイスラムが来た時に、60m の丘を作って埋めた訳です。で、百年前にスリランカの菩薩様が掘り起こして、今のブッダガヤのその原型を掘りおこしたわけですよ。その時昔、キングアショカ大王のお姫様が枝を持って、スリランカに植えたわけ。だから本体はそのままある訳ですね。でそのまた枝木でその今のブッダガヤの菩提樹がまた大きくなって。だから種から出来た訳ではないのですよ。原木そのまま移し変えて。

それでスリランカのお釈迦様の座った原木の傍に行ったら、まさに神、神木です。凄かったです。その子供の同じ枝で大木なっていますけれど、そこで朝な夕なに座ったら、「いやー、これでまあ、これ程素晴らしい体験はない」と思ったら、いつの間にかこの衣着せられて、グルグル歩くうちに。やっぱりただじゃないのですよ(笑)。ただではないのです。あの、ま、是非お勧めします。苦労はしますけれども、バックパッカーでね、200円300円の安宿で。お金は掛からないのですけれど、時間が…。お勧めですね。東南アジア、中国、ずうっとチベットから回って、今はそういう素晴らしい時代にありますからね。

**【和尚様】**

本当ですね。十分ですね。

**【水源師】**

行けます。私はバス旅行でずっと行ったから。陸路で。で、玄奘大師のいた長安、今は西安と言っているけど、そこのお寺に参って、ずうっとトルファンも汽車で行って、敦煌も見て。北伝の方の流れ。それから、南はずうっとスリランカからマレーシア、ずうっとビルマ、そしてタイ、ベトナム、カンボジア、ラオス。で、そこから雲南の中国のシーサンパンナ(西双版纳)に入っていく訳ですね。そこには二千年来のお寺があって南伝のお寺を守っています。で、タイの人が中国のシーサンパンナという所で、未だに仏教を守ってちゃんと暮らしています。

で、大理石の大理ですね、ダーリ(大理)という国があった訳です。もうその三大塔ですね、十三層の塔かな？中国風の。「ま、これ程美しい塔はあるかな？」と。で、思わず頭下げて般若心経唱えて三回回りました。もう塔と言うよりも仏陀そのものにしか見えない、というくらい心を込めて作られているから。

**【和尚様】**

機会を作りたいと思います。

**【水源師】**

いやー、まあ楽しい思い出話ばかりしてすみません(笑)。そういう事をして欲しいと、お願いしています。出来ます。そのうち。

**【和尚様】**

本当にね、現地に実際行くのが一番ですね。私は、パワースポットという言葉はあまり好きではないので。行ってどうかとは思いますが、行って「行った」という意識を持つと言うのは物凄く大きい事なのだなとは思っているのです。

**【水源師】**

そうです。私の旅は、寺、寺、寺、寺。パワースポットではなく、寺、寺、中国の一番寺の白馬(はくま)寺から、やっぱりそれ見て行ったら、その仏教の非常に苦労して伝わったという、「いやー良くもこの山奥で二千年前」とか、未だに雲南の南の端で二千年前のお寺を守るとか、それからビルマの山奥の人が行けない様な、インナーレイクのカクサンダ仏陀、お寺[カクビハラ]。2500年の歴史。もう最初の方に出来た。そこには涅槃船(沢山の人が乗れる)、涅槃像(一人苦難行する)とか回ればね、やっぱり感激ですね。面白い旅です、本当に面白い旅になります。私は遊ぶとかそれよりも、寺、寺、寺ばかりですね。でも楽しいですよ。パワースポットではないけれど。

**【和尚様】**

パワースポット要らないです。自分で幸せになりますわって。余計なお世話だってね(笑)。

**【水源師】**

お寺参りする事によって、福をもらえる様なそんな気分になります。いやー本当にそういう風に、この津軽からも旅して欲しいですね。お金本当に掛からない訳ですよ。船で中国にも渡れるし、九州の方から直接上海にも行けるし。それで上海から陸路でずうっとベトナムに行くし。ところが飛行機、飛行機だったら、莫大なお金かかるし、ホテルとか。だから、バックパッカーでずうっと行くのが一番安上がりで楽しい旅が出来ます。言葉もね、拾い読みで何とか出来ます。簡単なその国の言葉、「腹減った」とか、「食べたい」とか、「駅」とかね、それで良いから。もう文法も何もいらない。

では、和尚さんがいるから、曹洞宗の禅法で(瞑想)して、で私もまた私のあれと交換しながら...

**【和尚様】**

いやいや、めっそも御座いません。それはお断り申し上げます(笑)。

**【水源師】**

そうですか(笑)。

**【和尚様】**

そんなに自信ありません。お伝えする程...(笑)。

**【水源師】**

いやいや。そうですか。今日はお忙しいところ、わざわざ。いや楽しいお話を聞かせて戴きまして、素晴らしい時間を持ちました。

**【和尚様】**

こちらこそ、有難う御座いました。



---

水源禪師法話集 57  
(2015年10月4日 弘前法話会)

---

2016年12月12日 発行

編集兼発行 一乗禅の会